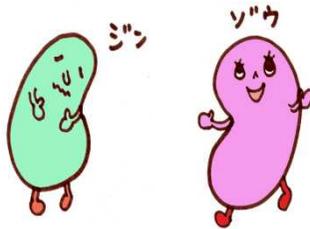


平成26年12月5日 資料

熊本市の予防・健康づくり活動 『CKD(慢性腎臓病)対策事業を中心に』



(熊本市CKDイメージキャラクター)

熊本市健康づくり推進課

本日の説明内容

- 1 本市の健康増進計画について
- 2 CKD対策の背景
- 3 CKD対策の取組(2009～2013)
- 4 CKD対策の結果と今後
- 5 その他の取り組み
 - (1) 職域保険と連携したがん予防の取組み
 - (2) 小学校区単位の健康まちづくり

熊本市のプロフィール

- ・人口 740,204人
- ・面積 389.54 km²
- ・平均気温 16.9 °C
- ・平均降水量 1985.8 mm
- ・高齢化率 22.6%
- ・合計特殊出生率 1.49人
- ・平均寿命 男性80.9歳
女性87.1歳

・市の抱える健康課題

熊本市は、年間平均気温16.9°Cと温暖でまた、74万市民の水道水源を全て地下水で賄っている。これは人口50万人以上の都市としては日本唯一である。

このような水の豊かな熊本市では透析導入者数が全国的に最も高い水準にある。



健康くまもと21基本計画 (熊本市健康増進計画)

目指すもの (理念)

全ての市民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちを市民と協働でつくる

基本目標

健康意識の醸成

健康分野における地域コミュニティづくり

健康寿命の延伸

基本的な方向と取り組み項目

①生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

がんの予防
循環器疾患の予防
糖尿病の予防
CKD対策

③健康づくりを進める
生活習慣の改善と環境づくり

栄養・食生活

身体活動・運動

休養

飲酒

喫煙

歯・口腔の健康

②社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

こころの健康
次世代の健康
働き盛り世代の健康
高齢者の健康

④健康を支え守るための社会環境整備

小学校区単位の健康まちづくり
健康づくりを支えるボランティアの育成・支援
企業・大学等の健康づくり活動の促進

熊本市のCKD対策



すべての市民が生涯を通して
住み慣れた地域でいきいきと
暮らせるまちを目指して

～ネットワークで守る市民の腎臓（そらまめ）～

熊本市健康づくり推進課

CKDとは、

急性糸球体腎炎
慢性糸球体腎炎
IgA腎症
糖尿病性腎症
腎硬化症
痛風腎・・・etc.



- ★患者さんに理解しやすい！
- ★専門医でなくても理解しやすい！

なぜ、CKDは重要なのか

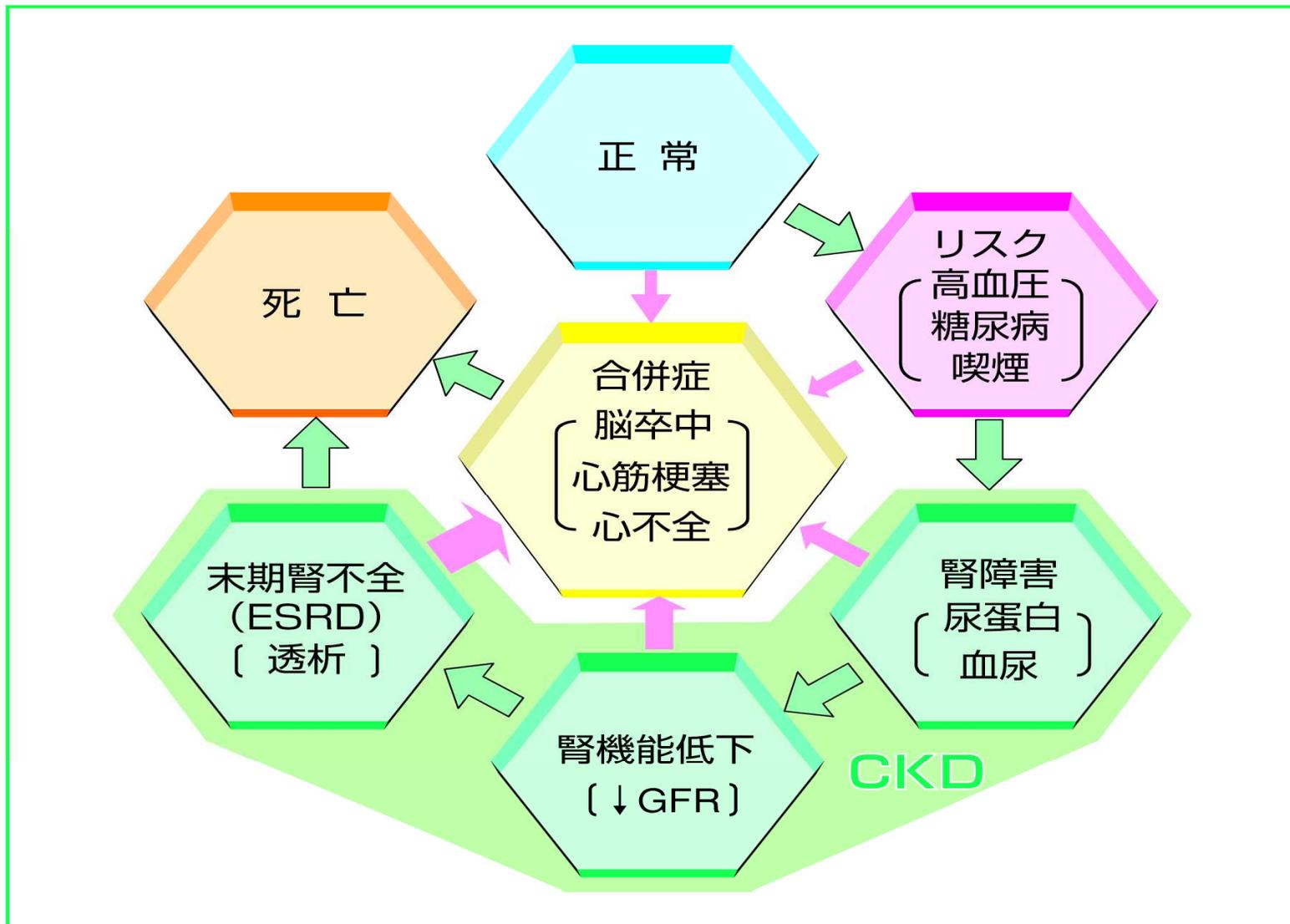
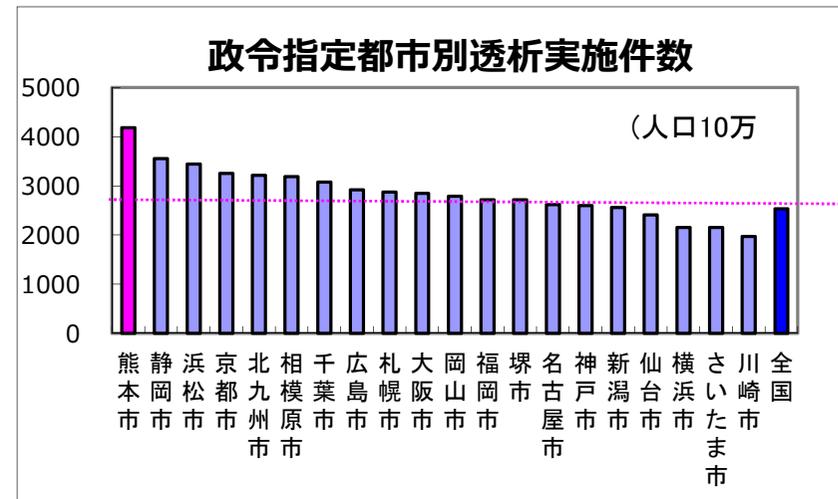


図 10 CKD の発症と進行の概念

CKD対策の背景

・平成21年度事業開始当初、本市の人工透析導入者数は人口比で**全国平均の1.47倍**と最も高い水準にあり、新規透析導入者は**年間295人**に上っていた。

・このため、熊本市は「CKDを熊本市民の重要な健康課題」と位置づけ、人工透析の新規導入者割合を5年間で**全国平均（実数で200人）**まで低減化することを目標に掲げ、平成21年度から**CKD対策を開始した。**



CKD対策の取組(2009~2013)

対策のアプローチ（4本柱）

- 啓発・早期発見
- 発症予防・進行抑制
- 悪化防止
- 推進体制の整備

